

二七九一番

かたいと  
片糸もち 貫きたる玉の 緒を弱み 乱れやしな  
む 人の知るべく

二七九二番

たまを  
玉の緒の 現し心や 年月の 行きかはるまで  
いもあ  
妹に逢はざらむ